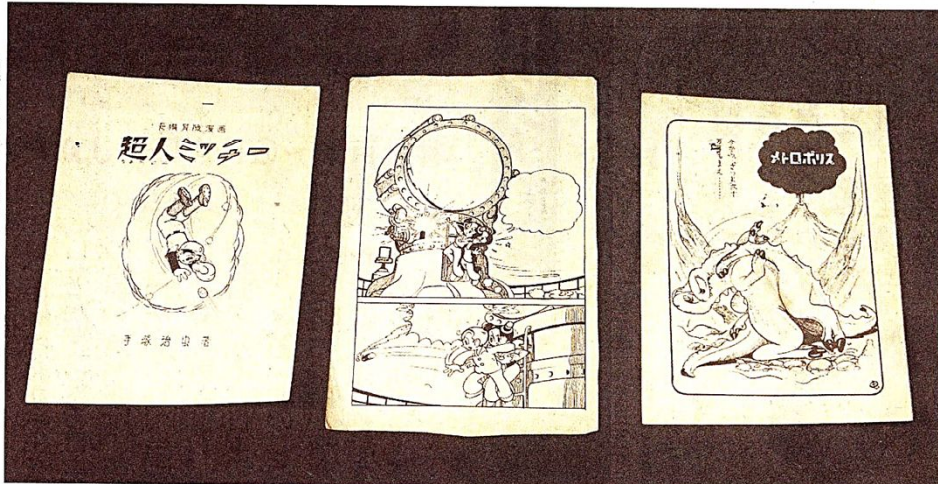


漫画家の故手塚治虫さんが描いた初期の代表作「メトロポリス」(1949年)や「有尾人」(同)など4作品計9枚の未発表原稿が17日までに見つかった。漫画家松本零士さん(75)が入手し、東京都内の自宅で保管していた。

### 「メトロポリス」など9枚 松本零士さん保管

# 手塚漫画 幻の原稿

漫画家の松本零士さんが保管していた「メトロポリス」の未発表原稿



「有尾人」で使わなかった原稿

手直し後に不要となった原稿「世界」(48年)、「浮標島」(未とみられ、松本さんは「差し替 発表)。9枚ともB6判で、色えた理由が分からないほど素晴らしい。若き日の手塚さんの試行錯誤が見え、興味深い」と指摘している。

手塚プロダクションによる「メトロポリス」は近未来の世界を描いたSF作品で、ミッチーというキャラクターが登場する。原稿には「長編冒険漫画 超人ミッチー」という表題が

## 妥協せず差し替え



故手塚治虫さん

書かれた扉絵もあり、手塚プロは「メトロポリス」と改題する前のタイトルとみている。

「浮標島は、93年に手塚さんの自宅で見つかった構想ノートにタイトルとあらすじだけが記

松本さんは手塚作品に限らず、散逸した古い漫画原稿の収集に努めており、今回の原稿は古書店や出版関係者らを通じて手に入れたという。近く手塚プロに寄贈する。

未発表原稿は、6月出版の「手塚治虫創作ノートと初期作品新発見編」(小学館クリエイティブ)に収録予定。実物は6月29日から東京都現代美術館で開催される特別展で展示される。